

岡山県立南部高等技術専門校 修了生 活躍事例

(ハロートレーニング 機械加工科編 その4)

～専門校に思い切って飛び込んで

未経験・初心者・女性も、製造業で活躍中！～

興味や関心があればぜひ見学を！ ※お問合せは裏面です。

自分の技術・知識を『人に伝える能力』を磨きたい！

▶訓練機関 岡山県立南部高等技術専門校

▶訓練科名 機械加工科（当時：精密機械科）

▶修了生名 小林 愛代さん（平成28年度修了）

▶事業所名 株式会社フジワラケミカル
エンジニアリング



（作業中の小林さん）

●小林さんの声

◇現在のお仕事の内容を教えてください。

私は現在、フジワラケミカルエンジニアリングという会社で主に半導体製造関連装置のプラスチック溶接をしています。入社して約5年になりますが、上司や先輩は頼りがいがあり、分からないことを丁寧に指導してくれます。

◇入校したきっかけは何ですか？

将来のことを考えている中で南部校を見学し、工作機械が動いている様子や金属が削れていることが印象に残りました。ものづくりが好きだったので、工作機械を使ってみたいという思いが強くなり、入校しました。

◇機械加工科で学んで、特に役立っていることはありますか？

図面の見方やCADの使い方、安全衛生の知識など、南部高等技術専門校で2年間（当時：精密機械科）学んだことが今の仕事にとっても活かされています。

◇会社の魅力をぜひ紹介してください。

小さなことでも積極的に業務改善を行っているところがこの会社の魅力だと思います。また、会社全体で女性がたくさんいて、社内・工場ともきれいなので、色々な面でとても働きやすいです。製造現場でも女性が活躍できる環境が整っています。

◇今後の目標を教えてください。

最近では後輩に仕事を教える機会が増えてきたので、これまで以上に自分の技術を向上させ、今まで学んできた知識をきちんと人に伝える能力を磨いていきたいです。

◇入校を考えている方へメッセージをお願いします。

専門校は男性が多かったため入校することに少し迷いもありましたが、製造業に必要な基礎をゆっくりと丁寧に教えてもらうことができ、製造という仕事にとて興味を持てたことが今の自分に繋がったと思います。

●上司の方の声：製造部 製造組立課 第2Gリーダー 篠原 健治さん

◇業界の状況や今後の展望を教えてください。

弊社は、プラスチックを用いた切削・溶接などを行っており、主に半導体製造装置部門での加工技術を生かしたモノづくりを得意としています。

近年の世界的な半導体需要は今後も続くものと予想されており、さらなる業務拡大・人材確保が見込まれます。

◇小林さんの仕事ぶりはいかがですか？

小林さんには弊社の主力製品である半導体製造の「洗浄」工程に使用される装置の、洗浄・薬液槽の接着溶接を担当してもらっています。液漏れ等、重大な問題を起こす可能性があり、責任がかかる大事な作業ですが、小林さんは組立前検査でも不具合をほとんど出さないため、周りからも大変信頼されており、製造組立課の大切な主力メンバーの一人です。

最近では後進の指導にも携わってもらっており、分かるまで丁寧に教えてくれる先輩だと聞いています。仕事に対しても人に対しても真面目で丁寧に考えることのできる小林さんの今後の活躍を期待しています。



(左から篠原さん、小林さん)

◇ものづくりの分野へ就職を検討している方へメッセージをお願いします。

安価な海外製品が猛威を振るう今日のものづくり業界において、半導体洗浄装置の製造は今なお日本が独占状態です。プラスチックの特性と加工技術を駆使して、一緒にお客様のアイディアを形にしていきましょう。

◆会社情報◆

株式会社 フジワラケミカルエンジニアリング

所在地：〒710-0145 倉敷市福江7-1

事業内容：工業用プラスチック加工、機械加工、溶接組立、曲げ加工

「見学希望！」の方、ご連絡ください！

岡山県立南部高等技術専門校

Tel 086-424-3311

Fax 086-424-3344

〒710-0038 倉敷市新田3241

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/199/>

【アクセス】

JR倉敷駅前「下電バス」

6番乗り場から、JR児島駅方面行き

八軒屋北(約15分)で下車、徒歩3分

